

E-Mail: [taniyama-cc@lagoonne.jp](mailto:taniyama-cc@lagoonne.jp) URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tvcc/>

発行人: 頭島光神父 編集委員: 上原敏子、上釜照美、徳永珠美

## 「今、『復活の時』を知る」

カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島神父

いま、コロナ禍もようやく「その時」を知り、私たちの目の前を去ろうとしています。今起こっている戦争も、いつか必ず終わることを心から希望しつつ、「その時」が来ることを、ひたすら祈り続けましょう。それでも、いつか必ず来る喜びは、待ち望んでいてもなかなか来ないものです。いまこのコロナ禍が終わるとき、どんな喜びが、私たちにあるのでしょうか。これらに反して、キリストの復活だけは何が起こっても違います。それは必ず私たちの処に来るからです。そこでは、これまでの苦難の過去を振り返る必要もなく、ただ目の前に広がる自分の進むべき道があるだけだからです。今のこの時まで歩んできた四旬節の道も間もなく終わります。その終着点は、ひたすら光輝く復活への道です。今こそ、まだ見ぬキリストの復活の「その時」をしっかり見据えましょう。

### ◆超越す「その時」

イエスが私の前を通り過ぎていきます。その足跡を慕い求めて行きましょう。すると世界は変わって、目の前には見たこともない風景が輝き始めます。イエスがあのタボル山の頂に立ったときのようなのです。イエスは輝くばかりの白い光に包まれています。この時、ペテロは一瞬、言葉を失い、雲の中から声が聞こえ、豊かな恵みと賜物に満たされます。イエスについていくだけで恵みは充満するのです。誠実な心で疑わず、真っすぐに神の眼差しを受け止めるだけで恵みの最中に到達するのです。死から命へと過ぎ越して、受難のイエスの跡を慕って歩を進めるとき、終着点は「復活の時」だと知るのでした。

### ◆苦難の「その時」

イエスの歩みは苦しみに満ちていて、その痛みは、私たちへの痛みと悲しみのメッセージでもあります。つまり、イエスは私の弱さのゆえに痛まれ、あなたの愚かさゆえに悲しみの淵におられるということです。私は、果たしてこのイエスのように他者の痛みを受け止められるでしょうか。自らの弱さのゆえに痛みを受け止められるでしょうか。真の苦難とは私が痛むのではない。イエスが私の代わりに、その罪ゆえに痛むということです。私の罪咎のゆえに、イエスご自身が痛まれるのです。実に、私の痛みはイエスの苦しみを通して取り去られたのです。イエスが十字架上で傷つけられたのは、罪をこの世から消し去るためでした。イエスの苦難は救いの時、恵みの時なのです。



### ◆愛を生きる「その時」

真の苦しみは、分かたれていた二つのものが再び一つに結ばれることです。そんな不思議な力が本当にあるのでしょうか。あるとすれば、それは一体どこから来るのでしょうか。イエスがこの力を神のもとから持って来て下さり、私たちの間に満たされたのです。人の中に入った、この力を私たちは愛と呼ぶのです。愛はまさに神様からの賜物です。だから、人は他者を愛するのです。その力を使えば使うほど、それが神からの賜物だと分かります。人は自分の力だけでは決して、他者を愛し得ません。神の力に自らを委ね、身を託すことで愛を生きるのみです。

### ◆一つになる「その時」

神からの救いの賜物は、無条件で私の中に入って実現します。そして、私からあなたへと、あなたから他者へと向かって成長していきます。更に、愛の賜物は、すべての人へとつながっていくのです。イエスが語ったこの愛の連鎖は、無限大に人々の間で広がり続けるのです。ですから、まだ終わらないこの神の愛の連鎖を、人は決して止めてはなりません。止めずにおけば、そこに救いが成就され、キリストによる復活と栄光の時が現実のものとなるのです。ここまで来れば、私たちはもはやキリストと一つです。私たちが神のもとにあってキリストと共に一つになること。これが私たちの希望であり願いです。ペンテコステ巻頭言、今日までの長い間、お読み下さり感謝です。また、いつか、どこかでお会いしましょう。ありがとうございました。



# 復活節

## 過越の 聖なる3日間



主の晩さんミサ	4月6日(木)午後7:00
主の受難ミサ	4月7日(金)午後7:00
復活徹夜祭ミサ	4月8日(土)午後7:00

### 4月の教会暦より

しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂とられました。

-コリントの信徒への第一の手紙 15・20-

## 2日 聖フランシスコ(パオロ) 隠世修道者 (1416?年~1507年)

イタリアのパオラに生まれたフランシスコは、サン・マルコのフランシスコ会修道院に入り、創立者のアッシジの聖フランシスコの精神を徹底して生きようと、14年という長い期間、黙想と断食、苦行という厳しい隠修生活をした。そんな彼の生き方に従う者が次第に増え、この人たちはアッシジの聖フランシスコ小修士会と呼ばれるようになり、1493年に「最も小さき者の会」となった。



## 30日 聖ピオ5世教皇

(在位 1566年~1572年)



アントニオ・ギズリエーリは、1504年にイタリアのロンバルディアの貧しい家に生まれた。若いときにドミニコ会に入り、1550年に宗教裁判所長となって異端審問官を長く務めた。厳格で禁欲的な人であり、また、信心深く、臨終の人を慰めたり、施しを求め貧者を家に招いていた。教会に対する大きな愛と、聖母マリアに対する熱烈な信心が、彼の活動のエネルギーだった。

教皇になってからは、教会全体から不道徳を払拭し、トリエント公会議の改革規定の実現に力を注いだ。ローマ・カトリック要理(1566年)を出版し、聖務日課書を改訂し、ミサの形式を確立した。現在行っているミサの形式は、この時代に定式化されたローマ典礼によっている。晩年は、ロザリオの祈りの形態を定め、トルコ軍の攻撃によって危機に陥ったヨーロッパ・キリスト教諸国のために、マリアの保護を求めてロザリオの祈りを広めたので、「ロザリオの教皇」と呼ばれている。没 150年後に列聖された。

-女子パウロ会聖人  
カレンダーより-

## 丹後の教会訪問記(2)

岩崎 正幸

網野聖堂をあとにして、次は峰山聖堂に向かいます。駅へ戻るつもりでいましたが、次の列車まではかなりの時間。そこでバスを利用することにしました。福知山駅で買った京都丹後鉄道の周遊きっぷはバス路線も使えるのです。教会がどのあたりということの見当もまったくないまま、峰山の中心地でバスを降ります。6つの聖堂を持つ丹後教会があるこの地域は、かつて町ごとに教会をもつところでもありました。今は合併して京丹後市という自治体になっています。その中心地が峰山です。自治体の合併にあわせて教会も1つになったというわけではないのですが、そんなイメージをもってしまいます。峰山は、網野の街よりも商店などが多いし、銀行や大きな病院もあります。教会もきっと大きいのでは、だったら見つけやすいかな、などと思いながら、歩きはじめました。京都教区の聖堂案内の地図では、駅前の通りをまっすぐ進めばいいように書いてあって、きっとここが駅前通りに違いない、とめぐるものの、聖堂らしき建物はまったく見つかりません。同じところをグルグル回ったりしましたが、わからないまま。結局またグーグルマップをたよることになってしまいました。すると、自分がこのあたりと見当をつけていたところとはバス停と全く反対側で、ずっとムダな動きをしていたことがわかりました。バスを降りてから1時間近く歩き回りついに峰山聖堂を発見。敷地は広いのですが、とてもこじんまりとした可愛い聖堂です。ここ峰山は網野よりずっと大きな町なのですが、聖堂は逆に小さいのが意外でした。聖堂入口までのアプローチに、花が植えられていて、峰山の信徒の皆さんが聖堂を大切に利用していらっしゃるのだろうなという思いが伝わってきました。この聖堂も中に入ることはできませんでした。聖堂の裏には「峰山教会ホール」という名前の信徒会館。こちらの中には入れませんでした。小さくて古いながらも大切に使われているのだなあということがわかりました。峰山聖堂をあとにして、京都丹後鉄道の峰山駅を目指します。炎天下を歩き続けるのはしんどかったのですが、巡礼をやりたいという思いも強い。なんとか駅までがんばろうと思いましたが、バス停で時刻を見ると、まもなく駅前行きのバスが。暑さに負けて、駅前までバスを利用してしまいました。駅前の食堂で昼食。丼物中心の和食のお店になぜかパスタがあって、それを注文。列車に乗り、次の巡礼地、大宮聖堂を目指します。(峰山聖堂正面とアプローチ。石には「全てにおいて神に感謝」と刻んであります。)



# 2023年4月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

◆復活祭、おめでとうございます。2月22日の灰の水曜日から四旬節に入り、40日間をイエスと共に過ごしてきました。いま、私たちは受洗者と共に喜びの時にいます。小教区のテーマである「ひとり一人を認め、尊重し、愛する」ことを実践できたと思います。これからも世界の平和を求めて、祈りを捧げましょう。聖霊の息吹を感じて、みことば深く黙想し、他者を愛する心で前に進んで行きましょう。コロナ禍もいよいよ納まるかと思わせるきょうこのごろ、希望を胸に私は西舞鶴教会(京都教区)へと転勤いたします。この8年間、色々ありましたが、谷山の信徒の皆さまのご協力を頂きながら、共に成長できたことを心から感謝します。皆様のこれからの更なる成長と谷山小教区の発展を心から祈り続けます。

最後に、今後の感染症対策では、最低限の手指消毒と検温と聖堂内でのマスク着用を守りつつ、4月のミサ典礼の朗読・先唱奉仕、以下よろしく願いいたします。

- ◆ 入堂前の検温、手指消毒及び聖堂内でのマスク着用に協力願います。
- ◆ 聖堂内への入場制限はありません。泣部屋は子ども連れ家族のみとします。
- ◆ 聖堂内では白印を前にご着席ください!換気、加湿はこれまで通り続けます。
- ◆ 聖体拝領は一列に並び、前後1m程度、間隔を空けゆっくりとお進みください。



ミサ曲 B,C  
頑張ろうね

■ 4月の典礼朗読及び先唱の役割分担は以下の通りです。

◇ 4月2日	受難の主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 1班
◇ 4月9日	復活の主日	午前10時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 2/3班
◇ 4月16日	復活節第2主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 4班
◇ 4月23日	復活節第3主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 5/11班
◇ 4月30日	復活節第4主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 6/7班

★これからは新主任司祭の盛神父様とミサ典礼を協力してより良いものにしていってください。最初は違和感もあるあるかもしれませんが、わかってくれば恵み深きものとなるでしょう。前にも申しあげましたように、ミサ曲には B も C もあるのです。この復活節中に練習し、バリエーションを増やしていって下さい。典礼委員会でも検討しつつ前に進めます。新主任司祭と協力し典礼を高めましょう。キリストの復活を称え、喜びのうちに一つとなりますように祈りつつ、神に感謝!

## 頭島神父様 有難うございました

西舞鶴教会へ～

神父様、色々ありましたね。課題の多い谷山教会でしたから、何から手を付けたらよいか分からなかったでしょう。私達もよくついて行き、良かったです。巻頭言最高!

8年間谷山教会のためにご尽力下さりありがとうございました。教会の庭、いつ見ても綺麗になりました。建物も修理の連続で根気強く向き合ってくださいました。屋根や壁、床、十字架の塔等の修理、電気、空調機器、納骨堂、放送やネット関係まで整備してくださいました。信徒会館もクレメンホールとなり、各会議室にも名前がつけました。一生懸命の神父様の背中を見て信者達も協力し、ミサの典礼も覚えました。西舞鶴教会へ転任と言う事で淋しくなりますが、新転地へ行かれても、どうぞお元気で活躍下さいますよう、お祈り申し上げます。

広報・上原

2023/4/1 主任司祭 トマス頭島 光

### 頭島神父様からのメッセージ

2023年3月12日(日)司牧評議会にて

\*ここ3年間コロナ禍による影響で主日ミサに与る信徒の数が減ってきている。以前は110人～130人来ていたのが現在は70人から75人程度。40人近く減ってきている。その方々の現状を把握して欲しい。特に班長さんは、電話を掛けるなり、何故教会に来られないのか話を聞いて、何かできることはないのか考えて欲しい。”愛の行い“を呼びかけられた

\*蚤の市、ワークショップ型黙想会、今後も続ける事が出来たら信徒の絆を固めるためにも良いのでは?



四旬節の黙想会のテーマ「地の塩、世の光」となりなさい。(マタイ5:13-16)  
2023/3/5 ミサ後、3組のグループに分かれて行われた。

# 令和5年(2023年)谷山教会04月の予定と祝日表(04月01日~04月30日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	土	9:00~ 19:00 蘇鉄の枝切り(200本準備)/聖堂内飾り付け 主の受難(枝の主日)のミサ*ロビーから		①	
2日	日	6:30ミサなし 9:00 主の受難(枝の主日)*クレメンスホールから	①		今月の行事当番班は2・3班です。
3日	月	6:30 朝ミサ/受難の月曜日			
4日	火	6:30 朝ミサ/受難の火曜日 *11:00~聖香油ミサ/ザビエル聖堂にて *18:30~典礼委員会			
5日	水	19:00 水曜ミサ < 求道者勉強会VIIシーズンVIIシーズン15			
6日	木	19:00 聖木曜日/主の晩餐の夕べのミサ(洗足式あり)			
7日	金	19:00 聖金曜日(主の受難)/十字架礼拝/大斎・小斎/聖地の為の献金			
8日	土	10:00~ 19:00 復活祭の卵茹で(200個)とローソクの準備 (当番班、班長その他有志) 聖土曜日/復活徹夜祭		②③	
9日	日	祭日 10:00 復活祭 復活の主日(洗礼式あり) *ミサ後、復活のお祝い と頭島神父様の送別会	②③		
10日	月	6:30 朝ミサ/復活の月曜日			
11日	火	6:30 朝ミサ/復活の火曜日	盛神父様 来谷山		
12日	水	19:00 召命ミサ/復活の水曜日	頭島神父様 出発		
13日	木	6:30 朝ミサ/復活の木曜日			
14日	金	6:30 朝ミサ/復活の金曜日			
15日	土	19:00 復活節第2主日のミサ		④	
16日	日	6:30&9:00 15:00~ 復活節第2主日/神のいつくしみの主日 会役員会	主日ミサにて 新主任司祭挨拶	④	
17日	月	6:30 朝ミサ			
18日	火	6:30 朝ミサ			
19日	水	19:00 召命ミサ			
20日	木	6:30 朝ミサ			
21日	金	6:30 朝ミサ ヨハネによる福音書 1-14			
22日	土	19:00 復活節第3主日のミサ		⑤⑪	
23日	日	6:30&9:00 復活節第3主日/ミサ後司牧評議会 *世界召命祈願日 (教会新役員と新評議員の承認)	⑤⑪		
24日	月	6:30 朝ミサ			
25日	火	祝日 6:30 聖マルコ福音記者 朝ミサ			
26日	水	19:00 召命ミサ			
27日	木	6:30 朝ミサ			
28日	金	6:30 朝ミサ			
29日	土	記念日 19:00 聖カタリナ(シエナ)おとめ教会博士 復活節第4主日のミサ	🇯🇵 昭和の日	⑥⑦	
30日	日	6:30&9:00 復活節第4主日/ミサ後信徒総会 会計報告と決算 の承認と活動方針	⑥⑦		

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	4,11,18,25日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:00~	5,12,19,26日
聖書と教理-II	毎週金曜日 10:00~12:00	7,14,21,28日